



行政学(2020年度前期月曜1コマ)

Home ▶ コミュニティデザイン学科 ▶ gyoseigaku

編集モードの開始

**この授業は、このままmoodleを使って進めていきます。
C-Learningを使う予定はありません。**

 ニュースフォーラム

第1回行政学授業(4月20日)

担当教員(中村)から：初回では、この授業全体のおおよそのスケジュールを把握してください。レジメについては初回から対象となります。Q & Aについてはまず自力で解答することがとても大切です。次回は教科書「政策を見抜く10のポイント」第1章とコラム1が対象となりますので、まだの人は事前に大学生協での購入を忘れずに。先を急ぐのではなく、毎回毎回の授業範囲を大切に確実にやっていきましょう。

本日、受講生から質問がありました。以下のように考えており、みなさんと共有したくよろしくお願いいたします。

<出席について>

この授業では、少なくとも5月25日の第5回授業まで、受講生にはその日（授業当日）のうちにアクセスし、やるべきことを自分のファイルに作成するというスタイルを取ります。その意味で出席は大前提ですが、受講生の自覚に任せ、そのチェックは5月末までは教員からは行いません。その後変更があればMoodle上で連絡します。

<中間試験について>

大学HPにありますように、オンライン授業について、事態が好転した場合（対面型授業が可能になった場合）には授業当日3週間前にはその旨掲載するとなっております。現段階では6月8日に中間試験を実施する予定です。その3週間前は5月18日（月）ですので、この時点で判断せざるを得ません。中間試験ができなくなった場合にはレポート等へ変更せざるを得ませんが、その中身については5月18日あるいはその翌日にこの授業のMoodle上で知らせるつもりです。



200420行政学01行政学授業の受講生へ



200420行政学01レジメ全体の体系



200420提示行政学Q&A全部



200420行政学01レジメ第1章行政サービスの範囲



200420行政学参考資料01新聞切り抜き01市区町村巡り

第2回行政学授業(4月27日)

担当教員(中村)から：本日からテキスト「政策を見抜く10のポイント」を読んでいます。今回の対象は第1章です。分権改革→平成の大合併→三位一体改革（→そして近年の地方創生）の流れを把握してください。なお、はしがきと同様、vi頁の初出一覧における執筆時年も念頭においてください。まずは熟読してから、問題に自力で答えるようにしてください。コラム1では、鉄道に限らずこのような経験はみなさんにもあるのでは。似たテーマでエッセイを書くとしたらどのような内容で書きますか。レジメにつきまちは初回授業と同様に何を言おうとしているのか、じっくり目を凝らしてください。そして問いに対してはキーワードをつなげる形でまずは自分で文章化してください。1回1回を確実に積み上げていきましょう。

参考資料につきまちは、資料提示はしておりませんが、たとえば間もなく成立する補正予算25兆7000億円という額が、本予算と比べてもいかに緊急の財政出動であるかが分かると思います。ぜひ一つ一つの記事をじっくり読んでくださるよう。



200427行政学02レジメ第2章官僚制と民主制



200427行政学参考資料02新聞切り抜き01当初予算

第3回行政学授業(5月11日)

担当教員(中村)から：連休明けの本日からコンスタントに週1回のペースで授業が続きます(地デザ、国際、農学の確定受講者数118名)。大丈夫です。テキストやレジメといった毎回の授業の素材に正面から向き合えば、力は確実に付いていきます。1回1回しっかり丁寧にやっていきましょう。

今回の対象はまず、テキスト第2章とコラム2です。公務員の仕事(公務活動)は民間(企業)活動とどう違うのか、公共サービスをめぐる市場と行政とのバランスをどう捉えればいいのか、といった論点を見据えながら読み進めてください。コラムは数年前のこの授業の受講生から出てきた提案です。みなさんだったら、どのようなアイデアを出しますか。

レジメはアメリカ行政学についてです。日本行政学はアメリカ行政学を導入・吸収することから始まったといえます。ギューリックの理論は組織全般に通用しますね。みなさんが身近に関わる組織を思い浮かべてください。

参考資料(プラスチック問題)も非常に重要な政策課題です。いずれも興味深い新聞記事ばかりです。スラット氏の実行力、すごいですね。まずは動いてみることで道が開かれてくる典型事例となっています。



200511行政学03レジメ第3章アメリカ行政学の展開



200511行政学参考資料03新聞切り抜き01廃プラスチック問題

第4回行政学授業(5月18日)

担当教員(中村から) : 今回の授業の前にみなさんに、対面型の中間試験ができなくなったため、**6月8日締切のレポートにつきまして、重要なお知らせ**があります。以下にあるレポート提出の説明のファイル内容によく目を通しておいてください。

さて、本日のテーマ設定授業に入りましょう。レポート課題の対象とはなっていませんが、身近な生活から世界全体を揺るがしている「百年に一度」といわれる課題です。3月30日、4月1日の新聞記事に限定した上での選出でも、これだけの分量の記事の数々です。それ以降1カ月半後の新型コロナウイルスの急激な感染拡大と私たちの生活への直撃に目が眩む思いがします。しかし、情報は力です。最高学府で学ぶみなさんには、知性で社会を捉える力が備わっているはずです。ここは落ち着いて、現在の状況を念頭に置きつつ、すべての記事にじっくり目を通して自分たちや地域社会、さらにはこの国の立ち位置について考えてください。



200518提示重要課題レポートについて



200518掲載行政学レポートワード用紙枠



200518行政学04テーマ設定授業新聞切り抜き01新型コロナウイルスその1



200518行政学04テーマ設定授業新聞切り抜き02新型コロナウイルスその2



200518行政学04テーマ設定授業新聞切り抜き03新型コロナウイルスその3



200518行政学04テーマ設定授業新聞切り抜き04新型コロナウイルスその4



200518行政学04テーマ設定授業新聞切り抜き05新型コロナウイルスその5

第5回行政学授業(5月25日)

担当教員(中村)から : **6月8日(月)締切**のレポート提出の仕方についてお知らせがあります。今日の授業に入る前に、トピック欄「**6月8日(月)行政学中間レポート受付場所**」にある「行政学中間レポート提出について」をクリックして中身をよく把握してください。

さて本日の授業です。まずはテキストの第4章です。知事というのはどのような存在なのか。知事に対する都道府県のチェック機能とは何なのか。また、この機会に住民監査請求の制度についても理解してください。

コラム5について、たとえ熊本市ではなくても、みなさんにも似たような経験があるのでは。その際にはどのような経験をしてどのような思いを抱きましたか。旅先ではその人の持っている価値観が前面に出てそれが当該地での行動に現れるものですね。

そしてレジメです。とくに政府間関係のところ、用語ばかりでなかなか厳しいでしょうが、**Q**に対して自分で答えを見つけながら、厳密でなくても枠組みの概要を理解して下さるよう。

参考資料にも目を通してください。2カ月前の論考だからこそその醍醐味があります。最後の働き方についての記事、図表にある昨年までの10年間の変化にも驚きますし、みなさんのキャリアデザインにも直結してきますね。



200525行政学05レジメ第4-6章現代国家の政府体系など



200525行政学参考資料04新聞切り抜き01グローバル世界再考

第6回行政学授業(6月1日)

担当教員(中村)から：6月に入りました。宇大キャンパスでは職員の方も隔日出勤から毎日出勤に変わるなど、少しずつではありますが再開に向けた動きが出てきました。授業も折り返し地点となります。テキストとレジメのポイントを押さえる勉強は継続していきましょう。

平成の大合併とはいったいみなさんにとって何だったのでしょうか(テキスト第5章)。政府の新型コロナ対策とコラム6の内容は無関係とは思われませんが、みなさんはどう考えますか。レジメについても、ぜひ問いに対してまずは自分で答えてください。「官房3課」の機能は、ラインとスタッフの考え方など後のレジメ説明とも関わってきます。

参考資料も考えさせられます。コロナ禍後は、さらに地域コミュニティや人々のつながりの比重が増していくのではないのでしょうか。

来週はいよいよレポートの提出です。とにかく大切なのは、「10行(課題1)、10行(課題2)、15行(課題3)」を自分の考えでもって書き切るということです。なお、既に記載済みですが、次回授業はレポートの提出をもって代えます。



200601行政学06レジメ第7章議院内閣制と省庁制



200601行政学参考資料05新聞切り抜き01国家-市場-地域社会



中止となりレポートに変更200601行政学06中間試験6月8日実施予定について

6月8日(月)行政学中間レポート受付場所



行政学中間レポート提出について

レポート提出の仕方についての操作は以下のとおりです。

1. 「行政学中間レポート提出について」のページの一番下に、「課題を追加する」がありますのでここをクリックしてください。
2. すると、点線で囲まれた画面が出ますので、ドラッグ(マウスの左ボタンを押したままにして)、完成したファイルをこの中に入れてください。あるいは実線枠の左上のマークからもできます。

3. 一番下の「変更を保存する」をクリックしてください。

以上です。

レポート作成は慌てずにじっくり取り組んでください。「200518提示重要課題レポートについて」の内容をよく読んでください。とくに以下の五点に注意してください。

- ・自分で考え自分の言葉で書くこと（専門家が書くように凝った用語を使う必要はありません）。

- ・ファイル名に注意すること。例：u209100A 宇大太郎(行政学中間)

- ・PDFファイルとすること（ワードで作成して完成したものを「名前をつけて保存」で、「ファイル名」のところPDFを選んで保存）。

- ・提出は、6月5日(金) 午前10時から受け付け、6月8日(月)午前10時締切です。この日程時間内に提出してください。

- ・書き上げた後、ぜひ「冷ます」期間を設けてください（最低半日以上は空けてほしいです）。その上で、もう一度自分の書いたものを精読して微修正する(校正作業を行う)。

なお、5月18日に掲載したものと同一二つのファイルをここでも掲載しておきます。

第7回行政学授業(6月15日)

担当教員（中村）から：湿気が多い梅雨に入りました。でも、ほとんどのみなさんは、先週の課題レポートをしっかりと提出しました。その意味ではすっきりした新たな気持ちで後半の授業のスタートを切りましょう。

今日はまず、今後の授業スケジュールについて把握しましょう。この欄に添付したファイル「200615行政学授業後半について」を開いて、さっとではなく、じっくりと目を通してください。ポイントは「両睨み」です。授業方針は変わらないものの、前半の授業からの変更もあります。これからの見通しを把握した上で、本日の授業に入りましょう。

まずテキスト第6章です。たとえば県内25市町においても総合計画の作り方は実に様々です。また、コラムでは地域における大学の位置づけや、若い世代と高齢世代との働き方の共通点などについて記載しています。

レジメは公務員制度です。行政学における制度論の小枠に入ってきました。公務員採用一つを取っても、開放型か閉鎖型かによって、とくに公務員志望の学生の大学生活をも左右するのです。

最後に、本日の課題を終えて一息ついてから、「200615選出コラム(行政学中間)」を読んでください。先週提出の110本ほどの課題レポート数に圧倒されつつも、担当教員も三つの課題をめぐるみなさんの記載に真剣に向き合いました。そのうちコラムについて、良いものは他にもありましたが、何とか絞り込んで7本を選出しました。



200615行政学授業後半について



200615行政学07レジメ第8章現代公務員制の構成原理

 200615行政学参考資料06新聞切り抜き01第1期地方創生

 200615選出コラム(行政学中間)

第8回行政学授業(6月22日)

担当教員(中村)から:夏の暑さの到来を覚悟していたこの頃ですが、栃木県内では昨日、今日と梅雨空ながら気温がぐっと下がって、半袖だと朝晩は寒いくらいです。みなさんのところはいかがでしょう。

さて、今日の行政学では、テキスト第7章から始めましょう。コロナ禍対策で問われた各都道府県知事の非常時の力量や大阪都構想の復活など、現在の地方の課題を考える上での素材が提供されています。

コラムは失敗談から学んだことを書きました。デジタルか紙かではなく、情報の取り方についても考えてほしいです。個人的には情報には“重さ”があるし、“足を動かして獲得する”情報の価値も多いと思っています。

レジメは行政学の管理論に入ります。とくに第10章のポイントでは官僚制組織の作動様式を、情報伝達経路の方向性と太さと結びつけた形での説明がされています(難解だと思われる用語の羅列に正面から向き合う姿勢が大切です)。

参考資料は、再び新型コロナウイルスを取り上げました。資料準備の際は予想もしていませんでしたが、3カ月前の論説等を今読むことの意義が生じています。

 200622行政学08レジメ第9章第10章官僚制組織の作動様式

 200622行政学参考資料07新聞切り抜き01新型コロナウイルス

第9回行政学授業(6月29日)

担当教員(中村)から:みなさん、6月最後の行政学授業です。これまでどおり、本日の授業に積極的に向き合って、6月を良い形で締めくくりたいですね。

テキスト第8章からスタートです。執筆当時(2011年12月)はマイナンバーカードがコロナ禍対策(一律給付金)でこれほど注目を浴びるとは予想もしませんでした。今や、保険証だけでなく、運転免許証代わりといった案も出てきています。果たして今後、取得率(現段階では20%にも届いていないのでは)は上がっていくのでしょうか。

コラム10は、東日本大震災後に訪問した宮城県岩沼市に関するものです。実際に歩いて五感で得た現地の情報というのは体全体が覚えていて、何年たっても昨日のことのように蘇ります。

レジメでは、たとえば誘因・貢献・動機の均衡関係やそれが不均衡となった際の面従腹背行動など、組織に属する限り、あらゆる人々が直面することです。その他にもストリートレベルの行政職員の特性や、取締活動にどれだけコストを掛ければいいのかの規準のあり方など、実際生活で直面する施策においても、いろいろと考えさせられキーワードが登場します。

参考資料について、「コロナ疲れ」といわれるように、確かにもううんざりといった気持ちも否定できません。しかし、現実に向き合わざるを得ない、しかも世界中がそうであるならば、あきらめずにどんな小さなことでもいいから、ポジティブな何かを生み出していきたいですね。たとえば、私の場合、ニュージーランドのアーダーン首相がいう「強く、そして優しく」に勝手に一言加えて、「強く、優しく、そしてしなやかに」などと呟いています。

本日は、参考資料を一つ加えました。もちろん授業は学生の本分です。しかし、その合間にこそ学びがあるという見方に、まさにそうだったのだと気づかされました。そうした時間と空間が奪われたキャンパスの雰囲気はもの悲しいですし、とても悔しいです。でも、必ず今の経験は、合間の学びにつながっていきます。この調子で1回1回を丁寧にやっていきましょう。



200629行政学09レジメ第11章第12章職員行動様式や対象集団など



200629行政学参考資料08新聞切り抜き01新型コロナウイルス



200629当日追加資料授業の合間

第10回行政学授業(7月6日)

担当教員(中村)から: みなさん、7月最初の行政学授業です。宇都宮では典型的な梅雨空が続いています。毎日届く私の商売道具!?!の紙媒体の各新聞も1年で最も湿った状態で届きます。紙の手触りでも湿気の高さを体感する毎日です。

さて、前期授業も残すところあと1カ月です(といってもオンライン授業のせい、何か実感が湧いてこないのは私だけでしょうか)。しかし、授業での学びは学生の本分の一つであるという正論を、敢えてここで再度確認しておきましょう。

気持ちを切らさず、休息を適切に入れながら、半歩でも一歩でも前へ前へと進みましょう。知は間違いなく生きる力となります。

みなさんならば「両睨み」への対応も大丈夫ですね。

テキストは第9章です。存続問題や不正行為など、何かとネガティブな話題と取り上げられる感のある地方議会ですが、新しい動きも出てきています。自治基本条例だけでなく、議会基本条例にも注目しましょう。コロナ禍後は、議会においても新たなデジタル化が加速するのではないのでしょうか。

コラム11の内容は、決して言葉遊びではありません。ただ、状況はここに来て変化しています。最後の「賢明な判断だったと思う」という考えは、大阪府知事の人気と相俟って、年内実施の住民投票でひっくり返されるかもしれません。大阪都構想の実現は、政府間関係の変容にもつながると思われれます。

コラム12で一番言いたかったことは、最後の「無名の人々の献身によって……」の箇所です。観光資源に関しても決して無関係ではありません。

レジメは官僚制の機能障害の側面に注目したものです。後半の依法主義や繁文縟礼との関連でいえば、ハンコ業界の方には怒られるでしょうが、コロナ禍を境にもう「ハンコ行政」は終わりにしてもいいのではないのでしょうか。

参考資料について、ここで登場する学識者でも、掲載の3カ月後に、世界の感染者が1000万人、死者が50万人を超えるとはさすがに予想しなかったのでは。

世界史におけるこの大問題を俯瞰し鳥瞰視する視点で、多面的に考察し、この災厄に思考の力でもって向き合えるのは、最高学府で学ぶみなさんなのです。やせ我慢でも背伸びでもいいじゃないですか。考えることは決して無力ではありません。考えることを放棄しあきらめてはいけません。みなさん、考え続けましょう。思考し続けましょう。



200706行政学10レジメ第13章第14章官僚制批判政策形成立案



200706行政学参考資料09新聞切り抜き01新型コロナウイルス

第11回行政学授業(7月13日)

担当教員(中村)から:行政学につきまして8月3日に予定していた期末試験は行わないこととなりました。これ代わって、課題レポート(締切は8月3日)となります。

課題レポートの中身や提出の仕方につきましては、次回授業の7月20日までに、現在のトピック15の欄に「8月3日(月)行政学期末レポート受付場所」と題して記載する予定です。

ただ、私としてはみなさんが、これまでどおり、テキストとレジメのQ&Aにも取り組んでくださることを希望します。

さて本日は、まずテキスト最終章です。2011年5月に事実関係を除けばデータを収集せずに、書き下ろした内容となっています。長目のコラム13は、聞き取りにもとづいています。書くことに軸足を置いている点はその後も変わっておりません。本日でテキストは終了となります。

そして、レジメも終盤に入ってきました。法律の決まり方をぜひ把握してください。

参考資料に関連して、その後僅かな間に世界の感染者が1200万人、死者55万人という急増ぶりと、200人を優に超える感染者が続いた東京の状況にどう向き合えばいいのでしょうか。生命(感染)と生活(経済)をめぐり、果たして私たちは着地点をどこに置けばいいのでしょうか。

以下、次回の授業進行(授業時間内の活字での双方向的なやり取り)について大切なお知らせがあります。以下に説明しますので、少し長くなりますが、みなさんで理解を共有しましょう。

今回のコロナ禍で考えが決定的に変わりました。それは、これまでは私自身の中で研究と教育とは別々のものだという無意識な線引きがあったのですが、それが、「教育の場面で自分の剥き出しの研究の部分をみなさんにぶつける機会を持つ」という強い思いに変わったのです。ファイルUUnow(19年4月)に目を通してください。

その上で、ぜひ中村未定稿01と中村未定稿02を1週間かけて熟読してほしいのです。どうか「小難しい理屈をこねくり回している」と受け止めないでください。事象に対して本気で迫るなら、社会科学においても専門用語の行使は避けて通れないからです。

そして、次回（7月20日）授業の課題である、

「2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか」

というシンプルな問いに対する答えを考えてほしいのです。その問いに対する自分なりの回答（私の考えと違ってても全く構いません）を、3行（ワードでいえば1行40字×3=120字）程度で一つ書いてください。あくまでも上記原稿二つを読み込んだ上で記載してください。

課題提出の場所は「トピック13」（授業当日は「第12回行政学授業(7月20日)」）となります。なお「200720行政学12テーマ設定授業新聞切り抜き01東京五輪延期」につきましては、未定稿の内容に生かされていますので、参考程度で結構です。

具体的には次回（7月20日）の授業時間内の展開は以下のように進めていきます（時間はあくまでも目安）。

・次回授業開始前までに、上記問いへの自分なりの回答文（120字程度）一つ（未定稿は二つありますが、みなさんが作成する回答文は一つです）をワードに作成しておく。

<7月20日の行政学授業の進め方>

・8:40-8:50 授業開始後、教員からの合図（当日のトピック欄に記載します）を待つて、文章校正（見直し）の時間を10分程度取ります。そして、ファイル提出ではなく、Moodleに直接入力（実際にはコピー・ペースト）して提出してください。その際に注意があります。後で教員が集約する作業効率のため、あらかじめ作成する文章の最初に「・」を付けてください。

・8:50-9:10 20分間の休憩時間となります。ただし、この間、他の受講生がどのような回答文を作成したのか思いをめぐらせ予想してください。この間に教員はみなさんからもらった回答文を匿名扱いで集約します。この作業が終わり次第、PDFファイルで7月20日のトピック欄に「行政学意見集約01」として掲載します。私からの新しいメッセージ見るには、9時15分以降に更新ボタン（パソコン画面上部の右回りの矢印の形をしたところ）をクリックしてください。

・9:15-9:45 この30分間の間にみなさんは他の受講生からの回答文である「行政学意見集約01」を熟読します。ここも大切な時間です。その上で、自分の考えについて再度1行（40字）程度の端的な文章を作成して、やはり最初に「・」を付けてMoodleに直接入力で提出してください。考えが変わっても変わらなくてもいいです。

・9:45-10:00 2回目の休憩時間となります。その間、教員は集約作業を行い、「行政学意見集約02」として、10時10分までにみなさんにそれをお返しすることを目指します。10時10分の終了までは授業から離れないようお願いいたします。

以上のような進行となります。とにかくやってみましょう！

-  200713行政学11レジメ第15章第16章行政需要や法令等意思決定方式
-  200713行政学参考資料10新聞切り抜き01新型コロナウイルス
-  UUnow(19年4月)
-  中村未定稿01
-  中村未定稿02

第12回行政学授業(7月20日)東京五輪をめぐる”活字ライブ授業”

- ・授業開始です。8:50までに提出してください。

- ・第1回目の意見受付を締め切りました。今から集約作業に入ります。9:15にトピック欄に掲載する予定です。

- ・予想外の作業量で掲載が遅れましたが、予定どおりで行きます。9:45までに第2回目の提出、よろしくお願いします。

- ・第2回目の意見受付を締め切りました。集約作業の時間内掲載、厳しい状況ですが、予定どおりでいきます。

- ・授業終了時間を過ぎました。2回目の意見集約を掲載します。みなさんの二つの意見を読むのはこれからですが、集約作業に追われながらも、真摯に考えてくださったことが伝わってきました。急ぎながらも慎重に作業に取り組みましたが、漏れがあるかもしれません。その場合でも私の手元には確実に届いておりますので、ご容赦ください。本日のテーマ、これからも追いつけていく所存です。それでは本日の授業はこれで終了します。

重要なお知らせ！：期末課題レポートの提出（締切8月3日）につきまして、遅くとも明日（21日）までには、トピック15の欄に掲載します。

-  200720行政学意見集約02
-  200720行政学意見集約01
-  第1回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか
-  第2回目 2020年東京五輪はどうなるのか、どうすべきか
-  200720行政学12テーマ設定授業新聞切り抜き01東京五輪延期

第13回行政学授業(7月27日)

担当教員(中村)から: みなさん、今回は課題提出ですので、授業最終回となりました。何とかここまで来ました。課題提出前にまず、今日の授業ですね。そして、他の授業の課題提出も終わったら、スマホ、タブレット、ノート・デスクトップなどのモニター画面から離れる時間を取りましょう。近隣を歩きましょう! 自転車で少しだけ遠出しましょう!



200727行政学13レジメ第17章第18章予算編成過程



200727行政学12期末試験8月3日実施予定について(試験は中止となりました!)

8月3日(月)締切行政学期末レポート受付場所



重要行政学期末課題レポートについて



行政学期末レポートワード用紙枠



行政学期末レポート受付場所はここです

ナビゲーション



Home

■ ダッシュボード

サイトページ

現在のコース

gyoseigaku

参加者

一般

第1回行政学授業(4月20日)

第2回行政学授業(4月27日)

第3回行政学授業(5月11日)

第4回行政学授業(5月18日)

第5回行政学授業(5月25日)

第6回行政学授業(6月1日)

6月8日(月)行政学中間レポート受付場所

第7回行政学授業(6月15日)

第8回行政学授業(6月22日)

第9回行政学授業(6月29日)
 第10回行政学授業(7月6日)
 第11回行政学授業(7月13日)
 第12回行政学授業(7月20日)東京五輪をめぐる”活字ライブ授業”
 第13回行政学授業(7月27日)
 8月3日(月)締切行政学期末レポート受付場所
 マイコース

管理



- コース管理
-  編集モードの開始
-  設定を編集する
- ユーザ
-  フィルタ
- レポート
-  評定
-  バックアップ
-  リストア
-  インポート
-  リセット
- 問題バンク

ルールを切り替える ...

サイト管理

最新ニュース



新しいトピックを追加する...

重要行政学期末課題レポートについて

07月 22日 12:25 中村 祐司

行政学期末レポートワード用紙枠

07月 20日 12:10 中村 祐司

200720行政学意見集約02

07月 20日 10:20 中村 祐司

200720行政学意見集約01

07月 20日 10:19 中村 祐司

200420提示行政学Q&A全部

07月 14日 16:51 中村 祐司

過去のトピック ...

直近イベント



直近のイベントはありません。

[カレンダーへ移動する...](#)

[新しいイベント...](#)

最近の活動



2020年 08月 10日(月曜日) 15:22 以来の活動

[最近の活動詳細 ...](#)

新しい活動はありません。

[このページのMoodle Docs](#)

あなたは [中村 祐司](#) としてログインしています (ログアウト)

[Home](#)